

# 平成25年度 当初予算編成方針

「健康寿命延伸都市・松本」へ  
—————  
勇気をもって 一歩踏み出し ステップアップを



健康寿命延伸都市・松本

松本市財政課

# 平成25年度当初予算編成方針

## 1 予算編成にあたって

明年度は、市長3期目の2年目に当たり、2期8年間の都市戦略の積み重ねを踏まえ、「起承転結」の「承」から「転・結」にステップアップを図る年です。

そのためには、松本市の総合計画「基本構想2020・第9次基本計画」の推進を図るとともに、重要施策を発展的に継承した「5つの重点課題」への取組みを、スピード感を持って進めることが求められています。

そこで、平成25年度当初予算は、「互いに助けあい、学びあい、安心して暮らせる持続可能なまち、夢と希望にあふれ、住んでよかった、住んでみたいと思えるまち」を目指し、松本市がフロントランナーとして、先駆的に進めてきた施策の成果を踏まえ、マンネリズムに陥ることなく、それぞれの分野で従来の取組みから一步踏み出すことにより、都市目標である「健康寿命延伸都市・松本」の創造を、着実に、堅実に、誠実に、実現するための予算編成とします。

## 2 経済の現状と明年度の財政見通し

### (1) 経済の動向

9月に日銀が発表した「短観」では、業況判断指数(DI)が前回の6月調査に比べ、大企業・中小企業ともに製造業で2ポイント悪化しました。

これを受けて、日銀は、「企業の業況感は、海外経済減速の影響などを背景に、幾分慎重化している」ことから、先月までの景気判断を下方修正し「わが国の景気は、横ばい圏内の動きとなっている」としています。

先行きについては「穏やかな回復経路に復していくと考えられる」とする一方で、「世界経済を巡る不確実性は、引き続き大きいほか、金融・為替市場動向の景気・物価への影響には注意が必要」としています。

また、日銀松本支店は、「長野県の金融経済動向」において「生産が弱めの動きに

なっている」「雇用・所得では、改善の動きに停滞感がみられる」ことから、先月までの景気判断を下方修正し「長野県経済は、横ばい圏内の動きとなっている」としています。

これらの国・県の経済動向を踏まえると、松本市を取り巻く経済環境の見通しは、依然として厳しい状況にあります。

## (2) 国の財政

### ア 中期財政フレームの基本的考え方

国は、このような経済状況を踏まえ「中期財政フレーム」において、社会保障と税の一体改革を実現するとともに「日本再生戦略」（平成24年7月31日閣議決定）を踏まえ、日本再生のための重点分野に大胆に予算配分し、社会保障分野を含め、聖域を設けずに歳出全般を見直すことで、経済成長と財政健全化の両立を図り、市場の信頼を確保しつつ、日本経済の再生を図っていく必要があるとしています。

### イ 国の予算編成方針

国は、「中期財政フレーム」に基づき、平成25年度予算を含めた当面の財政運営にあたっては、次の取組みを基本とすることとしています。

- (ア) 「中期財政フレーム」に定められた「歳出の大枠」71兆円を遵守する。
- (イ) 「日本再生戦略」を踏まえ、わが国経済の再生・成長に向けた大胆な予算の組替えにより、成長と財政健全化の両立を図る。
- (ウ) 「社会保障と税の一体改革」について、国民の理解を得るため、引き続き、行政の効率化・簡素化に徹底して取り組む。

なお、地方財政については、財政健全化に向け、行財政改革に積極的に取り組むこととし、地方の一般財源総額については、社会保障費の自然増に対応する地方財源の確保を含め、実質的に平成24年度の水準を下回らないよう確保することとしています。

### (3) 松本市の財政

#### ア 歳入

歳入の根幹をなす市税収入は、経済見通しに示されるように、海外経済減速の影響が懸念されるなど、法人市民税の大幅な回復は望めません。また、固定資産税も、継続的な地価の下落や評価替えの影響などにより減少が見込まれることから、市税をはじめとする自主財源の伸びは期待できません。

さらに、国が進めている社会保障と税の一体改革の全体像が、現時点では明らかになっていないこと、加えて、地域主権改革により移譲される権限と、地方へ配分される財源補てんの内容が明らかでないことなどから、国の財政改革が地方財政に及ぼす影響は、いまだ不透明な状況です。

このようなことから、国からの財源措置を含め、市の財源確保は、大変厳しい状況にあります。

#### イ 歳出

一方、歳出面においては、人件費、公債費について、行政改革と市債の縮減対策などの継続的な削減努力により、一定の成果をあげているものの、社会保障関係経費の伸びにより、義務的経費が年々増加している状況にあります。

また、公共施設のインフラ整備が進むことにより、維持管理等の経常的経費が年々上昇するなど、財政需要が増大しています。

このような状況の下、市民の要請に的確に応え、将来を見据えたまちづくりを進めていくためには、徹底した行財政改革の推進や歳出削減の努力によって、財政体質の強化に努めなければなりません。また、限られた財源をより効率的に活用するために施策を厳選し、計画的な行財政運営を展開することが求められています。

### 3 平成25年度予算編成の基本的な考え方

このような厳しい財政状況下にはありますが、「第9次基本計画」に掲げた「健康寿命延伸都市・松本」の創造の実現のために取り組むべき「6つのまちづくりの基本目標」と、重点施策を発展的に継承した「5つの重点課題」について、スピード感を持って、積極的に施策を推進していくこととします。

#### (1) 第9次基本計画の着実な推進

＝6つのまちづくりの基本目標＝

- ア だれもが健康でいきいきと暮らすまち（人の健康）
- イ 一人ひとりが輝き大切にされるまち（生活の健康）
- ウ 安全・安心で支えあいの心がつなぐまち（地域の健康）
- エ 人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち（環境の健康）
- オ 魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち（経済の健康）
- カ とともに学びあい人と文化を育むまち（教育・文化の健康）

#### (2) 5つの重点課題の取組み

- ア 松本城南・西外堀復元と内環状北線など、松本城を中心としたまちづくり
- イ 健康医療産業の創出と誘致及び日本のヘルスバレー構築
- ウ 新しい交通体系によるまちづくりと中心市街地のにぎわい創出
- エ 地域住民による地域づくり、いきいきとした地域づくりの推進
- オ 3ガク都（「学都」・「岳都」・「楽都」）と「松本山雅FC」を活かした人と情報の交流拠点都市の形成

#### (3) 持続可能なまちづくりのための行財政基盤の強化

「計画行政の推進」と「健全財政の堅持」を基本姿勢に、簡素で効率的な行財政運営を行うとともに、将来の税財源の確保につながる施策の充実により、行財政基

盤の強化を図る予算編成を行います。

ア 施策、事業の優先順位づけなどによる施策の厳しい選択を行い、選択と集中による予算の重点化を図ります。

イ 経常経費を含めた歳出全般にわたる縮減、既存事業の廃止、縮減整理による新規施策への財源確保など、歳出全体の徹底した見直しを図ります。

ウ 行政改革や行政評価、民間活力の導入など、市民サービスの向上を図りながら、行財政運営の効率化を進めます。

エ 一般会計における市債発行額を元金償還額の範囲内に抑え、市債残高を減少させる取組みを継続します。

オ 安定した財政基盤の確立を目指し、特に商工業・農林業の振興や観光戦略事業に磨きをかけ、未来につなぐ施策の推進により地域経済活性化に努め、税財源基盤の強化を図ります。

カ 国・県などの情報を的確に把握し、本市の施策に合致した国・県の補助負担金を積極的に取り込むなど、財源の確保に努めます。

なお、国の「地域主権戦略大綱」に基づく「地域自主戦略交付金」に代表される地域主権の進展に向けた政策や、社会保障と税の一体改革など、国の動向をいち早く情報収集し、予算編成に反映することに努めることとします。